



No.1 労働災害防止活動及び働き方改革等に係る取組事例の紹介

当署及び「盛岡地区労働災害防止関係団体連絡協議会」では、今年度の新たな取組として、各団体の会員事業者様から「労働災害防止活動及び働き方改革等に係る事例」を提供いただき、その事例を広く発信・共有することにより、盛岡地域の安全衛生水準等の向上を図ることといたしました。

第一回目に紹介する事例は、岩手労働基準協会盛岡支部の会員事業者の **昭和パックス(株)盛岡工場**様から提供いただきました。当地域の企業が実際に取り組まれている事例は、業種が異なっても参考になることがあるのではないのでしょうか。皆様の事業場における取組のご参考としていただくようお願いします。

熱中症対策→エアコン・ダクトの設置



建物の構造上、工場内は高温になります。熱中症対策として床置き式のエアコンを設置し、吹き出し口を作業位置にすることにより、従業員に直接冷風を送り、体感温度を下げるよう配慮しているとのこと。

腰痛予防、肉体面の負担の軽減



重量物の持ち上げや立ったまま行う作業は肉体的な負担が大きいため「パレット昇降機(回転式)」により作業性を向上させ、さらに「作業マット」を設置し腰部への負担を軽減しています。無理をさせない作業環境づくりに取り組んでいます。

フォークリフトのバック走行ランプ



フォークリフトのバックブザーは、他の機械の音で聞き取れないことがあります。フォークリフト全台に、ギアをバックに入れると青く点灯するランプを取り付け、バック走行時の危険箇所を「見える化」しています。

原料の積み重ね高さ制限



原料となる紙は、大型のロール状のため、高く積み過ぎると、荷崩れが起きたときの危険が大きくなります。高さ制限を5mと定め、その位置に掲示することで「ルールと遵守の状況」を「見える化」しています。

見える化への取組み

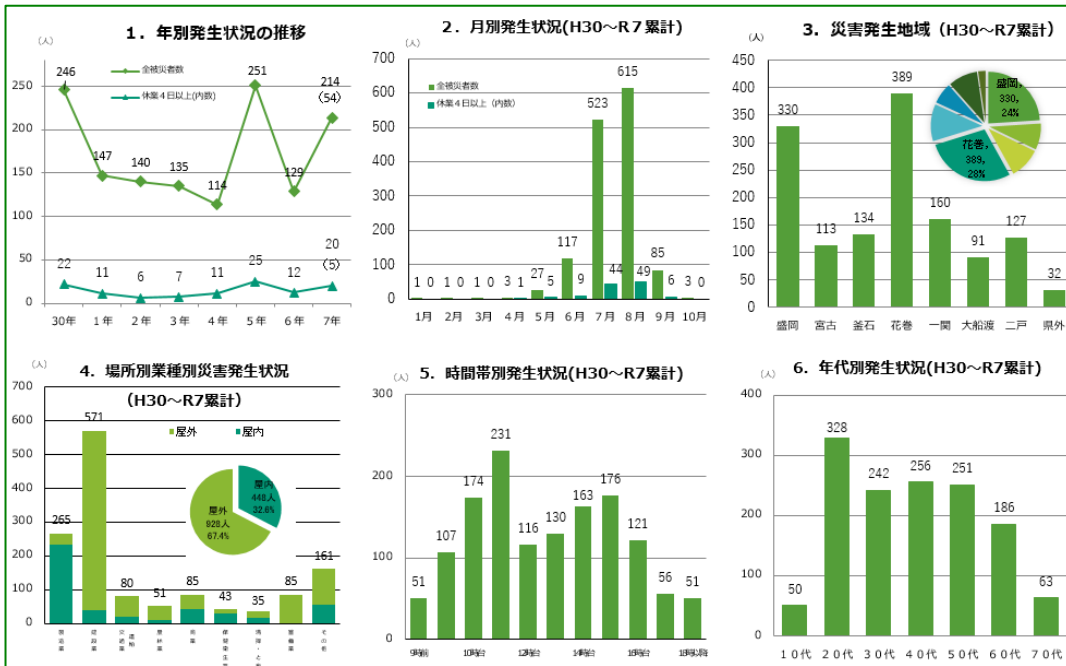


「パトロール危険箇所と改善結果の掲示」、「作業部分と通行部分(通路)の色分け」、「死角場所へのカーブミラーの設置」等、様々な見える化に取り組んでいます。

みんなで防ごう！熱中症

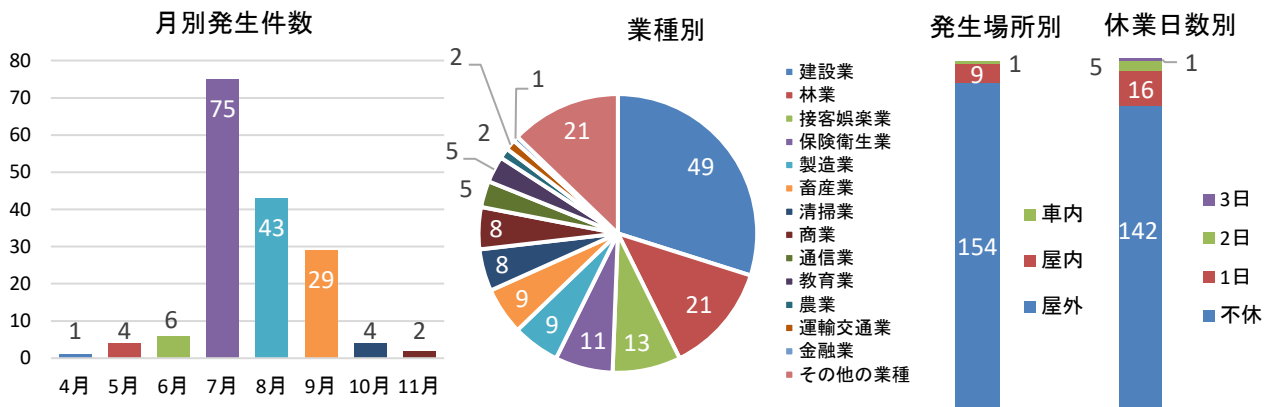
岩手労働局では、令和7年の熱中症による労働災害発生状況を取りまとめました。令和7年は、不休を含む労働災害被災者数は214人（R6:129人）、うち休業4日以上は20人（R6:12人）となり、猛暑の影響により熱中症による労働災害は令和6年と比較して増加しました。

また、平成30年～令和7年の累計をみると、月別では7月、8月で1,138件と全体の8割以上を占め、業種別では建設業が571件（42%）、年代別では20歳代が328件（24%）、時間帯別では11時台が231件（17%）と一番多く熱中症が発生しています。
[このリーフレット](#)を活用して熱中防止対策を徹底してください。



蜂刺されによる労働災害防止対策の徹底

盛岡署管内の令和7年度の蜂刺されによる労働災害発生状況を取りまとめました。全業種で164件、月別では7月が最も多く75件（46%）、業種別では建設業、林業が多く、屋外での発生が殆どを占めています。
[このリーフレット](#)を活用して防止対策を徹底してください。



メンタルヘルス推進セミナー

「ここからの成長が企業の成長を支える」
マネージャー、労務担当者、労働者の方々のための
メンタルヘルス推進セミナー2026

※オンライン開催
※このセミナーは、労働者の方々のためのセミナーです。

第1日 基礎知識編 7/2(木) 13:00～17:00
第2日 実践編① 9/10(木) 13:00～17:00
第3日 実践編② 11/19(木) 13:00～17:00

申込先: 大塚 大塚 大塚

マネージャー、労務担当者のためのメンタルヘルス推進セミナーが開催されます。
7/2（木）基礎知識編
9/10（木）実践編①
11/19（木）実践編②

← [申込はこちら](#) から



食料品災害防止団体の取組

盛岡地区食料品製造業労働災害防止協議会では毎年安全標語を募集しています。その中から二〇二五年度の表彰作品をご紹介します。

「安全と健康は一人ひとりがつくるもの みんなで築く無災害」
(イワテ・プリミート株式会社)

「ちよっとまで！ 作業を止めるその勇氣 言える勇氣と聞く心 みんなで守ろう安全職場」
(白石食品工業株式会社)

「冬の道 ちよっとの油断がトラブルに 相手を思い 安全運転」
(岩手缶詰株式会社盛岡工場)